

いきいき

「生き粋」とは…

- 趣味や生きがいをもつこと
- 新しいことに挑戦すること
- 人や社会とつながること
- 「ありがとう」を忘れないこと
- 「オシャレ」を楽しむこと
- 健康に気を配ること

口編集・発行 三春町教育委員会生涯学習課

【巻頭言】
皆様と楽しい学びを！

三春町教育委員会教育長
渡辺 和也



今年度、明徳大学や各地区の高齢者学級において、合わせて約三百名の方が学んでおられます。とても喜ばしいことであり、意欲的に学んでいる皆様、運営に尽力されている関係の皆様、敬意を表したいと存じます。また、昨年度から発行されている『三春町高齢者学級だより』が多くの方々に読んでいただいていることに感謝申し上げます。

子供の頃、アニメが好きでよくみていました。世界名作劇場『ペリーヌ物語』の中で、主人公の上司が「僕も経営学を学んでおけばよかったな。」とぼやく場面がありました。近くで聞いていた社長は「学ぶのに遅すぎるということはないぞ。」と言いました。その当時はよくわからなかったのですが、確かにその通りですね。特に現代では、学ぶ意欲、学びたいときに学ぶ環境が大切です。

また、宮崎駿監督のデビュー当時のアニメ映画『長靴を履いた猫』の中で「一人では、できないことも二人いればなんでもなうい。」という歌が出てきます。本当にそうですね。お仲間と一緒になら

多少困難があっても、「学び続けること」は楽しくなるでしょう。三春町では「生涯学習環境の充実」をまちづくりの柱の一つに掲げています。皆様のご意見をいただきながら、今後も高齢者学級の充実に努めてまいります。お互いにコミュニケーションを大切にしながら、様々な分野の学びを楽しく続けていきたいと思います。

明徳大学に入学して
明徳大学第五期 村上 正人



明徳大学に入学したきっかけは、在校生で地区の先輩からのお誘いでした。明徳大学の存在は知りつつも日々の忙しさもあり、入学を意識する事は今迄ありませんでした。どうしようかと考えつつ妻に報告すると、折角の機会だから二人で入学しようとの結論に至り新年早々願書を提出することになりました。

四月に入学式が挙行された際は、晴れやかな感情を抱くことができました。式後に教育長様から絵画を読むと題して講話がありました。今迄漫然と見ていた絵画ですが見方にヒントをいただいたように感じます。五月は歴史講座・三春人物列伝

と題して歴史民俗資料館の渡邊日向様の講話でした。三春の殿様列伝、三春の人物アラカルト、三春の化け猫騒動伝説を詳細な資料をもとに情熱と気迫溢れる話に全員が引き込まれ一時間の予定を二時間近くに及び大満足の講座でした。改めて三春の趣深い歴史と伝説に知識を重ねることが出来ました。

六月は移動学習で「中間貯蔵事業情報センター」と「東京電力廃炉資料館」を見学しました。当日は台風の接近で朝から雨のため除染土壌保管場所は車中からの視察でした。係員の説明で土壌の保管は安全な形で行われている事は理解しつつも、法律で定められた期間までに最終処分できるのか、全国での受け入れ意向は一果もなく、首相官邸や中央官庁で復興再生利用が実施されましたが、国の本気度で何とかならないものかと感じさせられます。



【要田ひまわり学級移動学習(6/15)中間貯蔵事業情報センター】



【中郷さくら学級(4/22)教養講座「あなたも私も国際人」】

大震災前は穏やかに一望できた太平洋は木々に遮られ、当時から見るのが出来ません。緊急避難を余儀なくされ移動先で亡くなられた方を想うと心が痛みます。午後は、東京電力廃炉資料館を見学し、取組は分かりましたが、相当な困難を感じました。私の時代での終わりは見えないでしょう。若い世代の技術者にエールを送ります。

仕事一筋だった自分から、明徳大学入学をきっかけに新たな学びと新たな交流に繋がっていきたいと思います。日々の健康に留意し妻共々二年間無欠席で頑張っています。同級生の皆様よろしくお願いたします。



六月二十三日に移動学習がありました。当日の朝は生憎の小雨模様でしたが、バスに乗り込めば明るい笑顔があふれ、賑やかで楽しい一日の始まりとなりました。最初に訪問した福島県警本部は、普段はあまり見学できない場所と聞いていたので、貴重な時間を頂いたことに感謝でした。広報担当の方がとても丁寧にしても分かりやすく説明してくださいました。また、交通管制センターの大きな交通情報



【御木沢清明学級移動学習(5/26)相馬市内復興状況視察】

画面を見ながらラジオ放送をしていることを知り驚きました。さらに、通信指令課の見学中心に、迅速に対応している様子を感じました。間近に見ることができ緊張感を感しました。昼食の後、午後からはヤクルト福島工場でお馴染みの商品がすごいスピードで作られていることに圧倒されました。徹底した衛生管理の様子を間近で見ることができ、安心と信頼感がより深まりました。今回の移動学習は、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。また、楽しい時間を皆さんと共有できました。今後も意欲的に歩んでいきたいと思っています。



【岩江さくら学級移動学習(5/27)柳津西山地熱発電所】

沢石さわやか学級

沢石さわやか学級

庶務 石井 孝一



当学級は現在一区く五区・七組十組の地域からのメンバーで構成され会員数は三十九名「男性五名・女性三十四名」で活動しています。特徴としては女性が多く、出席率が良く皆勤賞対象者が十六名、準皆勤賞七名と多いこと、沢石会館の清掃作業を分担し毎月一回行い町より助成金を頂き活動資金の一助となっている。

皆が楽しみにしているのは年二回の移動学習でしょうか。昨年度は宮城県の「角田宇宙センター」と「名取市震災復興伝承館」、いわき市の「いわき市石炭・化石館ほる」と「スパリゾートハワイアンズ」、令和八年春は双葉方面の「中間貯蔵事業情報センター」と「東京電力廃炉資料館」の見学で三十五名が参加し、個人ではなかなか見学が難しい中間貯蔵事業情報センターは意義深いものとなりました。秋には奥会津の「西山地熱発電所」と「奥会津水力館みお里」を見学予定で皆で楽しみにしています。

ます。

私と沢石さわやか学級との関わりはだいぶ前になりますが、妻と二人で栃木県足利市にある「あしかがフラワーパーク」に藤の花を見に行き園内を散策していたら団体客がぞろぞろと入って来ましたが、顔をみると地元の人たちではないですか！こんな遠方の場所でも偶然にも花見デートしていたのが地元の方々にばれてしまいました。団体名を伺うと高齢者学級の「沢石さわやか学級」とのことでした。この時はじめて高齢者学級という組織がある事を知りました。今後の課題については男性の会員が少ないので増やしたい、六組の会員がいないので地域差があることの解消、移動学習先で行き先が県内では行き尽くして新規開拓が必要なこと、バスから降りてすぐの場所まで



【中妻すずらん学級(4/14)教育長講話「絵画を読む〜クリスティーナの世界〜」】

距離歩くのは御免、入館料金、食事は出来るだけ安く美味しいもの、土産物を買う場所は多くなど、要求項目も多々あります。座学も毎回同じテーマだと飽きてきたようで一考必要になっており、会員各々が現役時代には皆プロとして多業種に渡り活躍しており各自の優れた専門知識を引き出し、お互いに当時のエピソード発表や他業種の専門知識を学習するのも良いと考え



【明徳大学第54期移動学習(5/21)ロボットテストフィールド】

【編集後記】

昨年度創刊した「生き粋」は、お陰様で第三号を発行することが出来ました。寄稿頂きました、渡辺教育長様はじめ各学級の皆様に改めて感謝申し上げます。次号の発行に向けて、掲載を希望される方のご連絡を心よりお待ちしております。